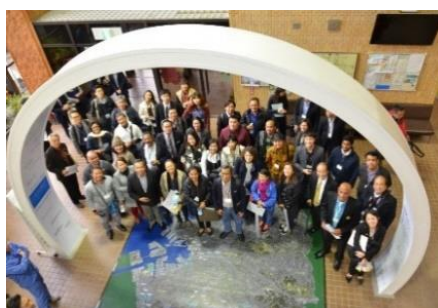


第7回アジア・スマートシティ会議 プログラム概要

2018年11月13日-15日

横浜市



主催等

- 主 催：横浜市
- 共同運営：東京開発ラーニングセンター（世界銀行グループ）、アジア開発銀行研究所



- 後 援：内閣府、財務省、外務省、環境省、公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）、JICA 横浜、横浜市立大学

全体テーマ

共創による革新に向けた「マーケットプレイス」
～スマートシティ・プロジェクトの創出と都市の創造的な変革への挑戦～

背景／ビジョン

私たちは「スマートシティ開発」を持続可能な都市づくりであると考えています。私たちの目指すスマートシティ開発とは、バランスの取れた持続可能な開発を推進し、官民両セクター間の連携によって生み出された様々な革新的技術を活用することにより、市民の生活の質を向上させるまちづくりです。

これまで、国際社会の様々な場面で、「スマートシティ」に関する議論が行われてきましたが、こうした議論の積み重ねを経て、今、我々に求められているのは、具体的なアクションです。

アジア・スマートシティ会議（ASCC）は、アジアを代表する都市のリーダー、国際機関、学術機関、民間企業の代表者らが一堂に会する国際会議であり、アジアにおけるスマートな都市開発に向けた情報のハブ構築を目指しています。この会議では、各都市のリーダーから提示される都市課題や成長へのビジョン、企業や学術機関による革新的ソリューションの提案、公民連携を資金面で支援する国際機関の施策や、世界の様々なベストプラクティスが共有されます。

第7回アジア・スマートシティ会議は、世界銀行、アジア開発銀行研究所との連携により11月13日から15日まで、横浜市で開催されます。7年目を迎える今年のテーマは、「共創による革新に向けた『マーケットプレイス』」です。2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）を達成するために国際社会が取り組む中、日本政府から「SDGs 未来都市」として選定され、目標達成に向けて取り組んでいる横浜市が同会議を主催します。

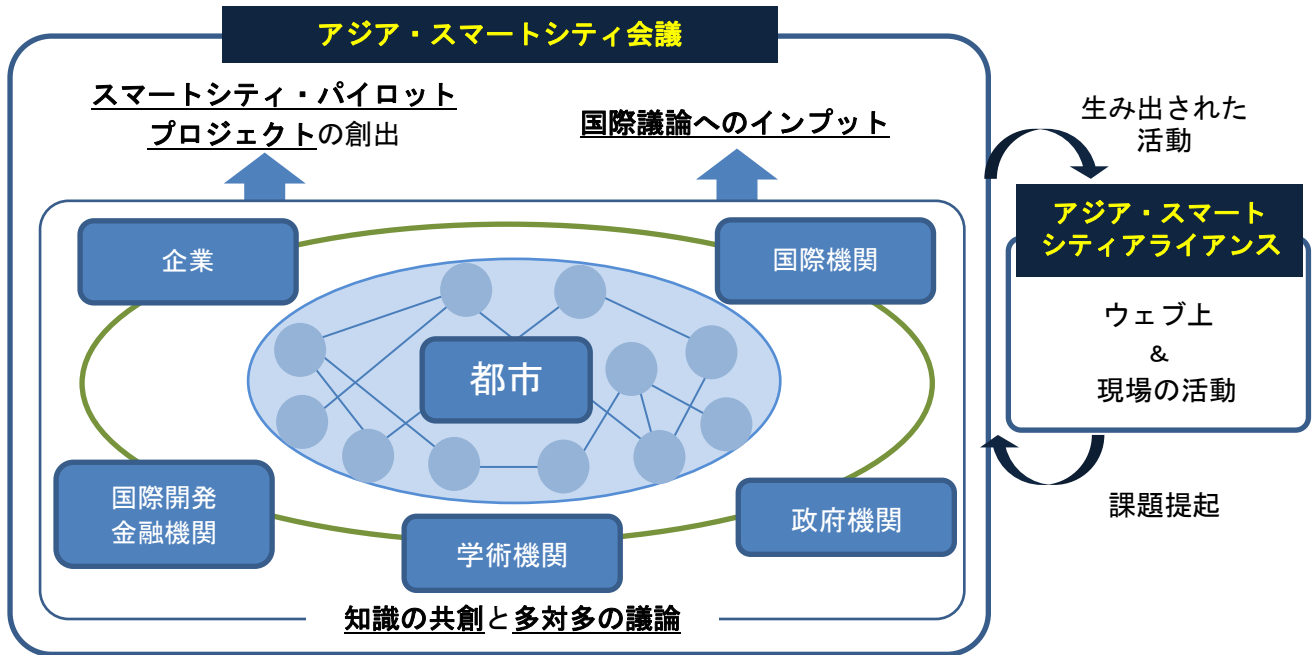
排水・廃棄物処理、省エネ、低炭素交通システムなどの根幹的な都市課題に加えて、AIをはじめとした新たなテクノロジーが都市に与えるインパクトについて、都市課題とソリューションを一体的に議論していきます。ASCCでは、事業分野の垣根を越えた包括的な議論や、多様な参加者のネットワークの場を提供することで、アジアの都市におけるスマート・ソリューションを実現するためのプロジェクト創出を目指します。

あわせて、本会議におけるスマートな都市開発の議論を、持続可能な開発目標（SDGs）やESG投資、社会的責任投資（SRI）のような国際的な議論につなげていきます。

会議の特徴（Unique Value Proposition）

- 都市のリーダーが自らの活動について発表し、他の都市・企業・国際機関等からも活動のヒントを得られる多対多の対話
- アジア地域におけるスマートな都市開発のパイロットプロジェクト創出を目指し、都市課題、ソリューション、ファイナンス等をセットで議論
- 知見の共創に加え、参加者の主体的なネットワークの場を提供

ASCC の主な取り組み



プログラム

【第1日】11月13日（火）

12:30- 参加受付

13:00-17:00 横浜でのスマートシティ開発の現地視察

- **Aコース** 横浜市新市庁舎

2020年に完成予定の環境に最大限配慮した低炭素型の市庁舎

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kanri/newtyosya/kensetu-info/kensetsu-info.html>



- **Bコース** 水・環境ソリューションハブ

横浜市北部に位置する廃水処理プラントと汚泥処理プラント

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/gesui/centerinfo/02wtc/>
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/gesui/centerinfo/12src/>



- **Cコース** 廃棄物からエネルギーへ

横浜市北部に位置する廃棄物焼却発電施設と缶・びん・ペットボトル選別施設

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-soshiki/kojo/tsuzukik/>
<http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-soshiki/jimusho/shi3.html>



18:00-20:00 カクテル・レセプション（主催：世界銀行）

【第2日】11月14日（水）

8:30-

参加受付

9:15-9:45

イントロダクション

- 分科会に先立ち、会議のねらい等を共有します。

10:00-12:30

分科会1（4つの分科会を同時開催）

- **コンセプトと目的**

新たなテクノロジーは、都市における市民サービスを静かに、そして根本的に変化させつつあります。また、それはサービスの提供方法にとどまらず、根底にある経済活動やファイナンスのあり方も大きく変えてしまうほどです。2050年の世界予測によると、人口は97億人になり、その内の60億人は中間所得層であり、都市人口は増加が顕著になると推定されています。世界経済は、2-3倍に成長する見込みであり、そのような成長の大半は、現在、開発途上国で生じています。革新的技術は、急激な成長に伴うインフラの不足やサービスの停滞、古いモデルからの脱却に悩む都市に対して明るい展望をもたらします。世界の都市が、世界で起こっている革新的イニシアチブを共有するために集まり、包括的かつ強靱で持続可能な都市を創出するために、革新的技術をどのように活用できるかを提示します。

- **分科会の構成**

これらのセッションは、開発途上国の意思決定者らとソリューション提供者らのマッチングを促進する目的としています。都市の代表者はモデレーターと共に特定の開発課題を発表し、国内外からのソリューション提供者（企業、学術機関など）が、技術や製品、能力開発支援など、課題に対処するためのソリューションを提案します。

- **テーマ1：上下水道と廃棄物**

テクノロジーは、上下水道、公衆衛生、一般廃棄物管理の業務、特に運営管理、モニタリングなどに関するサービス提供の効率性を確保するという点で、重要な役割を担っています。

#キーワード：水供給、無収水（NRW）、排水、下水、一般廃棄物管理、水（上下水道）と廃棄物の相互作用

- **テーマ2：交通**

発展途上国は依然として輸送インフラが大きく遅れていますが、自動車による輸送が急速に拡大する可能性があります。その中で、汚染の低減や省エネルギー、渋滞の削減に加え、交通安全の向上と経済成長の促進につながる、マルチモーダル戦略が採用される可能性もあります。

#キーワード：情報通信、IoT、コネクティビティ、公共交通

- **テーマ3：エネルギー効率**

省エネルギーは、日本におけるスマートシティの取組の中核になっています。最近の民間主導のイニシアチブにはどのようなものがあるのでしょうか。

#キーワード：省エネルギー、HEMS/BEMS

- **テーマ4：災害レジリエンス**

危険の正確な予測、モニタリング、報告は、効果的な防災に向けたスマートで迅速な意志決定に重要です。自然災害による経済的・社会的損害を軽減する上で、テクノロジーはどのように役立つのでしょうか。

#キーワード：洪水リスク管理、河川管理、地震リスク管理

12:30-14:00	ネットワークングランチ
-------------	-------------

14:00-16:30	分科会 2（4つの分科会を同時開催）
-------------	--------------------

➤ **テーマ5：スマートシティに向けた都市インフラの提供**

IoTなどのテクノロジーによって、膨大なデータ（構造化／非構造化データ）が生成されています。都市やそのステークホルダーが、データに裏付けられた都市計画や都市管理のために、こうしたデータポイントを利用するには、どうすればよいでしょうか。また、こうしたデータを、部門を超えて管理・共有する方法や、こうしたデータを市民へのサービス提供の改善につなげる方法について、議論を行います。

#キーワード：都市計画と都市管理、都市インフラ、空間データインフラ

➤ **テーマ6：土地開発におけるビッグデータ／オープンデータの活用**

都市化のペースや範囲に関するデータの改善は、インフラ開発や産業政策、環境計画、土地管理の向上につながる可能性があります。利用可能な膨大なデータを土地開発の向上に活用するには、どうすればよいでしょうか。

#キーワード：ビッグデータ、ゾーニング、ドローン、土地および地理空間

➤ **テーマ7：製造業と産業の革新**

新たなテクノロジーによって、ものづくりの在り方に変化が起きており、製造業の風景が塗り替えられつつあります。これによって発展途上国では産業化や労働生産性、雇用創出にどのような影響が生じ、またそこにはどのような機会があるのでしょうか。

#キーワード：エネルギー、AI、VR、機械学習

➤ **テーマ8：スマートテクノロジーを活用した市民参加**

スマートテクノロジー（インターネット、携帯電話、その他情報をデジタルで収集、保存、分析、共有するためのツール）が、世界各地で急速に普及しています。しかし「デジタル化の配当」、つまりこうしたテクノロジーの活用による幅広い開発上のメリットは、実現が遅れています。多くの場合、スマートテクノロジーによって成長の加速や機会の拡大、サービス提供の改善が見られるものの、その全体的な影響は不十分であり、配分にもばらつきがあります。スマートテクノロジーの時代において、どうすれば包摂的な開発を実現できるのでしょうか。

#キーワード：市民参加、eガバナンス、スマートデバイス

18:00-20:00	歓迎レセプション
-------------	----------

【第3日】11月15日（木）

8:30-	参加受付
-------	------

09:30-12:00	パネルディスカッション
-------------	-------------

● **セッション1：包括的な都市開発**

総合的な都市開発を促進するためにどのような組織が必要か、部分最適に陥ることなく全体最適を達成し、市民サービスを向上させるためにはどうすればよいのか。このセッションでは、前日の午前中の議論に基づいて、都市開発に関する包括的な議論を行います。

- **セッション2：革新的な技術**

このセッションでは、前日の午後の分科会の取りまとめを行いながら、今後の社会の枠組みを大きく変えるゲームチェンジング・テクノロジーとは何か、また、こうしたテクノロジーは都市開発にどのような影響をあたえるのかについて議論を行います。

#キーワード: AI, VR, 機会学習, ブロックチェーン, 電子/生体 ID, 電子決済

12:00-14:00	ネットワーキングランチ
-------------	-------------

14:00-17:00	全体会議
-------------	------

- **オープニングセッション**

日本政府または国際機関のリーダーたちによる基調講演を行います。

- **ラウンドテーブルセッション**

パネルディスカッション形式により、アジア各都市のリーダーや開発事業者等がスマートシティ開発に関する取組の発表を行い、スマートシティに関する議論の結果を参加者と共有します。

併催イベント

- **横浜インフォ・マーケット（11月14日10:00-16:00、11月15日9:30-14:00）**

新興国の都市課題解決への貢献と、横浜関連企業のビジネス機会創出を目的として、2017年に一般社団法人 YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE (YUSA) が設立されました。この横浜インフォ・マーケットでは、横浜市と YUSA が連携して、横浜市が持つ街づくりに関するノウハウに加えて、横浜の企業が持つ技術を紹介します。

また、都市課題へのソリューションを求める新興国都市や企業と、ソリューションを提供する日本企業の出会いの場を提供します。

【お問合せ】YUSA (YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE) (TEL: 045-227-5506、MAIL: info@yusa.yokohama)

- **ビジネスフォーラム「企業と自治体が担う、SDGs で創る持続可能な都市」**

(11月14日10:30-12:30)

日経 BP 社が事務局を務める日経 ESG 経営フォーラムは、「企業と自治体が担う、SDGs で創る持続可能な都市」をテーマとする「ビジネスフォーラム」を開催します。日経 ESG 経営フォーラムは、ESG 経営を提唱する企業など約 140 の会員からなる組織です。このビジネスフォーラムでは、世界銀行及びアジア開発銀行 (ADB) の幹部が登壇し、それぞれ、「『新国富』活用、企業・自治体への期待」、「ADB の SDGs への取組と日本企業への期待」について講演します。

【お申込み】<https://bpcgi.nikkeibp.co.jp/form-cgi/formhtml.cgi?form=emf07/index.html>

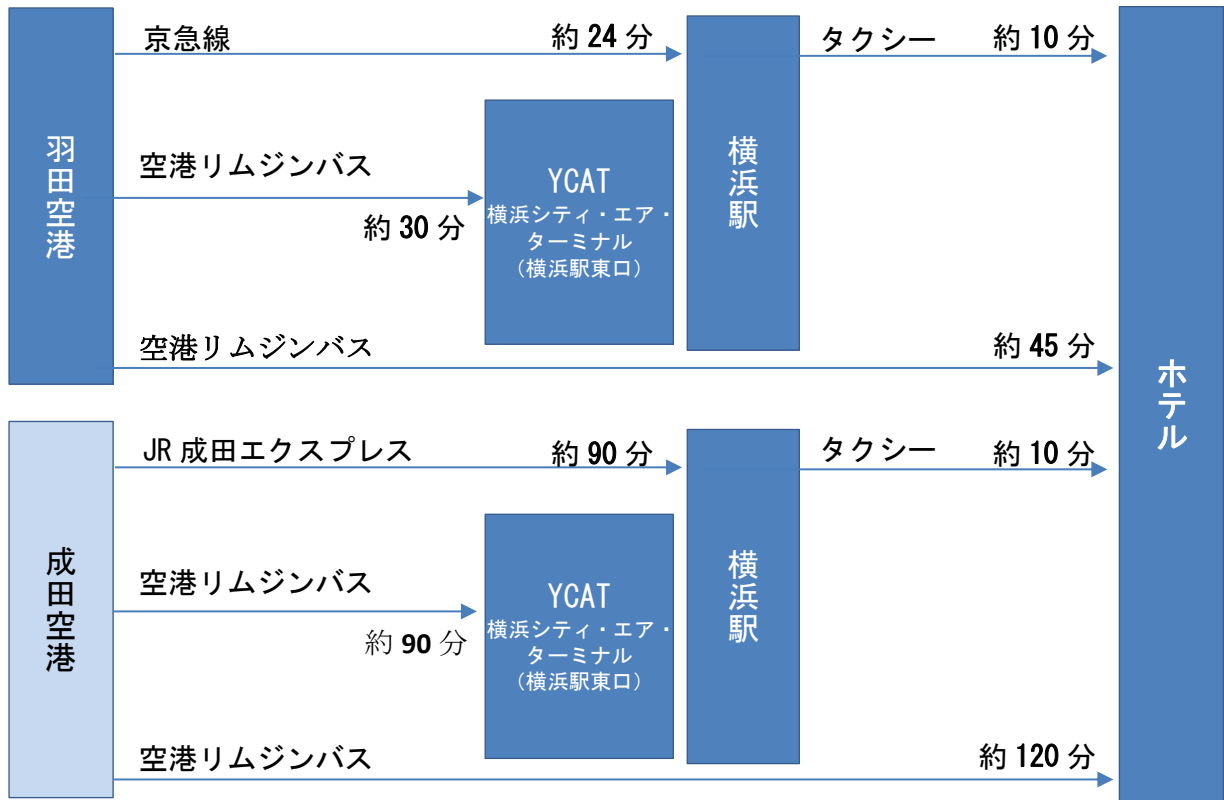
- **ユースイベント 2018（11月14日14:00-16:30）**

優れた環境技術を持つ中小企業は、国際的な技術協力を行ううえで非常に重要な存在です。このイベントでは、株式会社日新から資金協力を得て、日本の中小企業が海外展開をするうえでの課題や今後の展望について研究した成果について、横浜市立大学の学生が発表します。

【お問合せ】横浜市立大学グローバル推進室 (TEL: 045-787-8945、MAIL: kokusai@yokohama-cu.ac.jp)

会場

ヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテル (横浜市西区みなとみらい1-1-1)



【問い合わせ先】

横浜市国際局国際協力課 アジア・スマートシティ会議担当
ki-asc@city.yokohama.jp TEL 045-671-4703

第6回アジア・スマートシティ会議報告書

【動画】 <https://youtu.be/qJN7m5jzi-w>

【報告書】 <http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/yport/pdf/6asc.reportj.pdf>

詳細については

